



序 章 日本国いま亡びんとす
第一章 亡国の根本原因
第二章 「日蓮によりて日本国の有無はあるべし」
第三章 亡国の予兆
第四章 立正安国

なんでまた

「滅ぶ」「亡ぶ」

「ほろぶ」ばかり

言うのかね。

2 ページ 「白々しすぎるダミーサイト」

4 ページ 手記 「ゲーム」 元サマナ

6 ページ 感想 「早川氏の本」 元サマナ

8 ページ 「 11 対 4 ?」

9 ページ 「本当だったんだね」 -死体ビデオ

12 ページ 窓口「情性だのこっている人たち」

「白々しすぎるダミーサイト」

<http://blog.goo.ne.jp/skanda0302>

上記サイト、そこへのコメントにて注意喚起しようと思ったら、なんと、書き込めないと言うので、一部を転載します。

あまりに白々しすぎる。

ネットを馬鹿にしているのかなあ、

夏のセミナーを終えて、燃えているのでしょうかしら。

功德を積むために焦っておられるのですか。

おふざけもいい加減にして欲しいものです。

以下抄本、

>2005 年 08 月 16 日 02 時 42 分 00 秒

>サークル会員募集中！！ [Weblog]

>オフ会を行っています。

>当ブログをご覧になり、ご興味お持ちの方は会員登録を

>チベット美術鑑賞・ヨーガ式ウォーキング大会

>ヨーガアーサナクラスです。もちろんお茶会もあります。

>登録の際 ①本名フルネーム

>②生年月日または年齢と誕生星座

>③血液型

>④携帯お持ちの方はそのアドレスと電話番号(当日の連絡先の為)

>⑤ご住所(何丁目とかは要らないです。)

>⑥ブログをご覧になっての感想

>もちろん個人情報は一切の漏洩は致しません。ご安心下さい。

>名前 津宮佐絵子

>2005 年 08 月 09 日 00 時 36 分 51 秒

＞本日9日より15日まで、佐絵子のお気楽日記は夏休み

更新もありませんし、コメントもチャットも出来ません

誰でも心に隙間があることがあるものです。

簡単に騙される方も居るので、注意喚起をしました。

用心!



手記 ゲーム

最近 よくやっているゲームがあります。パソコンでインターネットにつなげて遊ぶゲームで「TANTRA(タントラ)」というやつです。MMORPG(多人数参加型オンラインロールプレイングゲーム)型のオンラインゲームでゲーム上の仮想世界でその住民となり他の多くのプレイヤーとコミュニケーションをとりながら協力してモンスターを倒していくものです。

このジャンルのゲームはいろいろな種類のもが出ていて、それぞれ世界観が設定されています。中世ヨーロッパ風のファンタジーの世界観のもの、日本の戦国時代のものなどいろいろあります。

「TANTRA」の世界観はヒンドゥー神話をベースにしています。プレイヤーはシヴァ神、ヴィシュヌ神、ブラフマ神のいずれかを主神にします。私はもちろんシヴァ神にしています。まだオウムの影響からぬけきれてないからかも。他にもゲームの中に出てくる用語で「カーリー」「ドゥルガー」「パールバティー」「ソーマ」「チャクラ」「プラーナ」「クンダリーニ」「カルマ」「シャンバラ」などの用語が出てきます。モンスターのことは「マール」と呼びます。マールの中には座法を組んで空中浮揚しているヨーガ行者の姿をしたやつも出てきます。自分の分身となるキャラクターには能力、強さのレベルがあってオウムのステージみたいなカースト制度もあります。武器は剣や弓などを使いますが、マントラを使ってマールを倒すタイプのキャラクターもいます。

私の使っているゲーム上のキャラクターには、サマナにつけられていたホーリーネームでかっこいいなあって思っていた名前をつけています。オリエンタルな雰囲気はこのゲームの中ではこの手の名前ってすごくマッチするので。

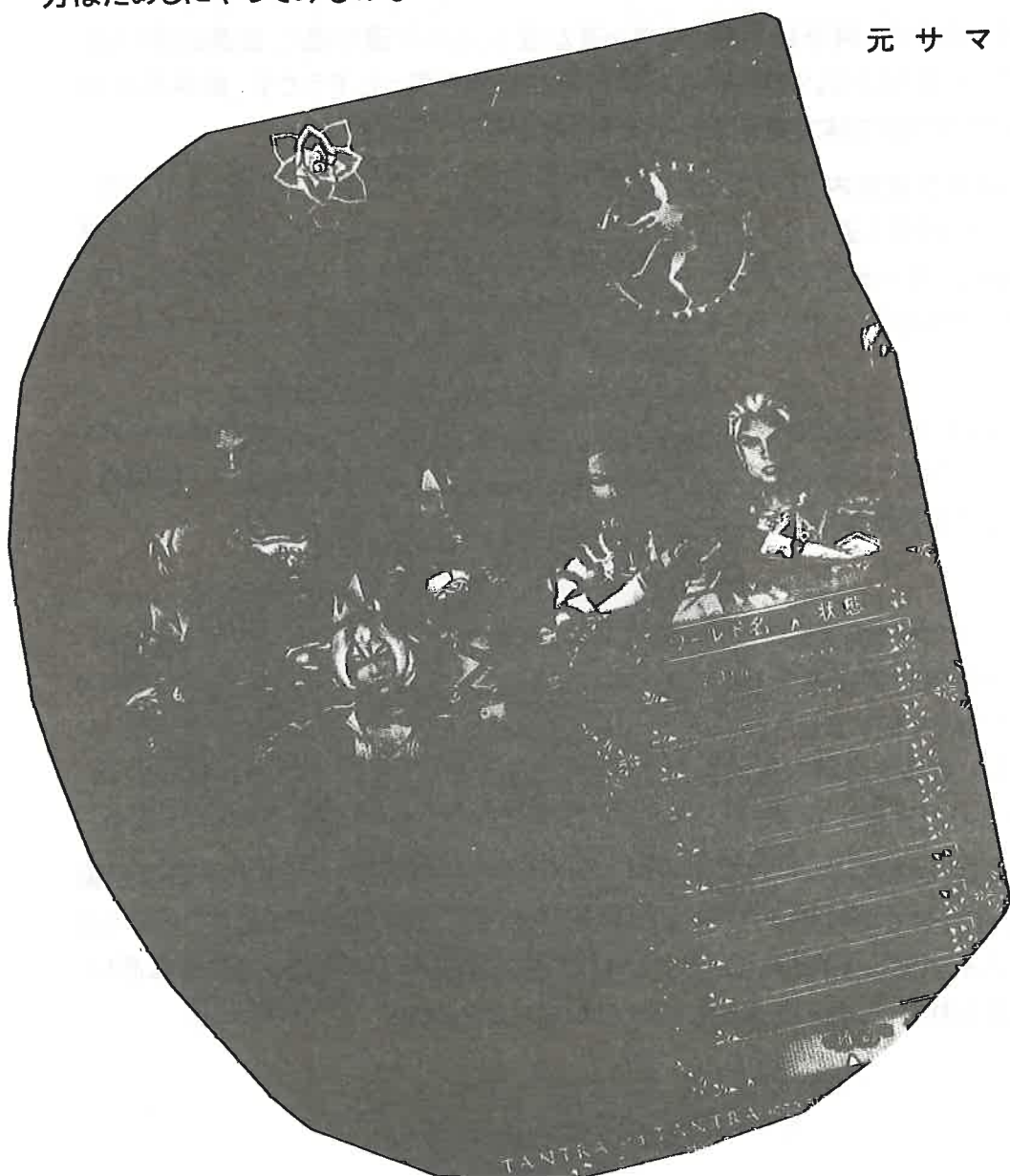
このゲームのイメージガールは森下千里さんがやっています。ゲームのテーマソングはゴダイゴの「ガンダーラ」です。昔、堺正章が孫悟空やって、夏目雅子が三蔵法師をやっていた西遊記のドラマのエンディングテーマ曲だったやつです。

最近、こういうゲームにハマってしまうネット依存症が問題になっていますが、やっぱりつつい熱中してしまうところありますね。

前、NHKで著書「バカの壁」で有名な解剖学者 養老孟司氏の特集番組を放送してんですが、養老氏はPCゲームが好きで自宅でMMORPGのゲームをしているシーンが映ってました。時間のあるときやっているんだと話してましたね。ちなみにこの番組の中で学生からオウムで水中サマディやるから立ち会ってくれと言われたなんていう話をしていた部分もありました。おそらくサルヴァニーヴァラナヴィシュカンビンさんのことでしょう。

このゲームは無料で遊べますが、パソコンが3Dゲームができるくらいのある程度以上の性能のあるやつでないとできません。そういうパソコンを持っている方はためしにやってみるのもいいんじゃないですか。

元 サ マ ナ



手記 早川氏の本

早川紀代秀氏の書いた「私にとってオウムとは何だったのか」を読みました。この中にブータンでヒマラヤ山中にある寺院に行った時の話が載っていました。行きはラバと徒歩で登り、帰りはラバは危ないので徒歩だけで山を下りたそうです。

帰りの途中、麻原氏が来たときと道が違う、こんな道が悪く、段差の多い道は通った覚えはないと騒ぎだし、早川氏に文句を言ったそうです。麻原氏は目が不自由なので体で覚えているそうなんです。

早川氏が道案内をしているブータン人に聞くと、「同じ道だ。道は1本しかない。私は何度も通っている道なのに はじめて通るあなたたちがなぜ文句を言うのか」と言われたそうです。それでも麻原氏は文句を言い続け、村井など取り巻き連中も「そうですね。たしかに違う道ですね。」と調子を合わせていたそうです。

早川氏が「来たときはラバに乗っていたからわからなかったんじゃないんですか？」と言ったら 急におとなしくなったそうです。しかし その後も 麻原氏は「道は2本あったんだ」と言い張っていたそうです。

このエピソードを読んで 村井などの取り巻き連中が、すぐなんでもかんでも麻原氏に調子を合わせておべっか使っているのが こっけいでほんとにバカらしいなって感じました。ヴァジラヤーナではグルがたとえ間違ったことを言ったとしても弟子に絶対的な帰依をさせると言っていましたが、たしかに村井たちはそれを実践しているとは思うけど、これではねえ。なんかバカらしすぎる。

麻原氏の思い込みや勘違いで言い出したことを村井たち取り巻き連中が調子を合わせて持ち上げ 毒ガスが撒かれているとか 悪業を積んでいるからとか アイツはスパイだからとか言いがかりをつけられて殺されたり迷惑な思いをさせられたりしたらたまったものではないですよ。

地下鉄にサリンを撒くのも 現役信者は「尊師には深いお考えがあったんだ」と思っている人いるかもしれないけど、これもひょっとしたらこんな調子で決めたんだとしたらと思うとちょっと考えさせられますね。

元パモーチャナ師の2005年8月1日のブログにこう書いてありました

「まず最も重要なのは、グルを意識することである。完全にグルを意識できれば、選択を誤ることはない。」

元 サ マ ナ



私にとってオウムとは何だったのか
早川 紀代秀 (著), 川村 邦光 (著)
339 p ポプラ社 (2005/03)

「 11 対 4 ? 」

デイリースポーツというところに出ているんですね。

<http://www.daily.co.jp/newsflash/2005/08/14/183540.shtml>

要点は下記。

退いていた上祐史浩代表(42)が今春以降、信者と面談を繰り返したり、頻繁に会合を開いた。「正悟師」3人のうち2人は復帰反対派で、グループの結束強化に躍起。麻原彰晃の写真をしまうなどの「麻原隠し」を進めた。しかし反発も多く、03年10月に教団運営から退いた。集団指導体制に移ったが、信者から「指導力に疑問がある」と批判が噴出。職業安定法違反事件などで昨年7月と今年6月、5人のうち2人が逮捕され、今後を不安視。上祐代表は昨年10月ごろから、側近に指示し「問題解決には上祐復帰が不可欠」とするメールを信者に送らせ、今年2月にはインターネット上に会員向けのブログ(日記風サイト)を立ち上げ。信者を度々教団施設の自室に呼んだり、会合を持ったりして運営方針について議論を重ね反対派も頻繁に有力信者を集めて勉強会を開催。「上祐代表は麻原教祖の説法を曲解している。復帰は教団の乗っ取り行為だ」と反発を強めているという。

アーレフ広報部は「上祐代表の復帰は議題として取り上げられたことはなく、(上祐代表が)最近開いている集会は教団の正規の活動ではない」とコメント

うーん、

- ・ 集団を長く残すためには、「本音と建前」を使い分けるおぞましい上祐路線
- ・ グルを正しく継承していく宗教という(というか麻原は「単に真理を述べている」と言っていたのですが)正当性を維持するためには、原理路線なんだろう、と思う。

現在の支部状況は、原理:上祐=11:4でしたっけ ??

「本当だったんだね」

2005. 7. 10

本当だったんだね、7月1日の日記に書いた「ATB進化」での死体ビデオのこと、です。何人かから確認できたから間違いないと。今月のCD閲覧ですか。

なんともお、昨年夏には、竹刀で他の人を何千回も叩いて、死なせてしまうような異様な状態となってしまったケロヨンでさえ、それはしていなかった。

まあ、体は自動車で言えばボディーであり、大切なのは運転手にあたる魂である、というオウムの教えからすれば、全くおかしくないけれど。

だから、麻原がいた頃から、死体写真や、死後の変化をアニメにしたり、一部の人は他国から買ってきた模様の死体が腐っていく状態を録画したビデオ？を見させられたりした。

しかしなあ、友人であるはずの法友の遺体を撮影して、ナレーションをつけてCDにするかなあ、海に骨を撒くところまで録画されていた、とのこと。驚き。一人は、富士山で亡くなり後に発見されたサマナ、一人は今年、温熱修行でなくなったサマナ。 ガックリです。

ちなみに、古代帝国富士皇朝＝金環食＝ザインは、パワーストーン販売などを資金源にして、長く続けてきた阿呆らしすぎる隊士ごっこ(あれ刀に刃が入っていないから犯罪とできなかったものです)から、女性器を崇拜(たしかにすべての人間が生まれたところだからその発想は各地の祭りなどにも残っている通りあり、観音様とも言うけれど)して、しょもない猥褻儀式をする集団に変化してきていた。彼女らの眼がさめた時、辛いだろうなあ。

オウムーアーレフ本体も、今後、分派していけば、

- ・ 主な流れはストイックな修行をして死亡事件を時々起こす小集団がいくつも、
- ・ ミイラ死体を生きているとしていたライフスペースみたいなのか、

- ・ 内部リンチを重ねる集団とか、
- ・ ハーレムカルトとか(ああ、すでに大阪でそんなカロカという分派が一時期できていたです、思い出した)
- ・ せいぜい十数人程度での集団自殺に至る集団とか、
- ・ 尊師奪回や、麻原の破壊願望のままに、テロを実行する少人数の集団とかいろいろできていくのだろう、と。

どうしたものか。公安警察さん、どうぞ分派した先こそ、さらに監視を強めていてください、お願いします。そして、取り調べ方法には、まさに工夫してください。

――以下、2チャンネルの書き込みより――

521 : 恐怖と救いのワンセットはまやかしだ! : 2005/07/01(金) 14:56:24

ID:DcjlKicI

アーレフには『ATB進化』という信者教化用の教団内テレビ番組シリーズがあります。その最新号の第82回は『死―2人の師のバルドへの旅立ち』と題して、カップピナの死体ビデオに、マハーナーマの死体ビデオをカップリングするというナメた内容となっています。

私は教団をスパイするに当たり、滝本太郎氏や苦米地英人氏の著書を読み、カルトの手口や洗脳・脱洗脳のメカニズムを自分なりに勉強しました。

そしてオウム・アーレフの修行が精神にどういう作用をするのかを、常に分析するように努めました。今回のこのカップリングビデオは、無意識に作ったのかもしれませんが、カルト宗教の本質である『恐怖と救いのワンセット』の典型でした。

523 まずカップピナですが、映像の詳細については過去スレ34の145―154で既に述べましたので、ここでは省略します。今回のATB進化版は、BGMやナレーション、テロップを駆使し、まるで昔あったテレビ番組の『知ってるつもり?』のような構成でした。

まず最初に生前の写真とナレーションで、カッピナをあたかも何かを世に残した偉人のように持ち上げます。そして次に、いきなり死体のシーンに変わります。カッピナの死体映像の合間に、ヴィリヤの暗いインタビューや、杉浦実が死体の状況を説明する場面が挿入されます。

最初に持ち上げた後に、見るのも無残な死体のアップが来るため、死は避けられないということが、否が応でも強調されます。

525 次にマハーナーマです。彼の場合も最初に生前の映像を用いて偉人のように紹介した後、死体映像を持ってくるという構成でした。マハーナーマの映像は火葬場でのデスマスクで、風呂の中で死後硬直したためか、口がぽかんと開いたままで、皮膚はまっ茶色でした。

アーレフよ、サマナが死んだ場合、死体を撮影する決まりでもあるのか？

お前たちのことだ、本当は富樫の全身も撮ったんじゃないか。

大やけどで死んだときの『見本』としてな。

他には死んだ風呂場の映像や、遺骨を海に散骨する場面がありました。(海に捨てるなよ)。そして最後は、お約束の『人は死ぬ、必ず死ぬ、絶対死ぬ』の麻原の説法で締めくくられました。10年前と全く何も変わっていません。

いや、むしろ仲間の死体を『教材』にするあたり、より悪質になってます。

生、老、病、死＝四苦

憎いものと遭う怨憎会苦

別れる苦しみ愛別離苦

求めるものが得られない苦しみ求不得苦

迷いの存在であること自体が苦とする五陰盛苦

計八つの苦しみを四苦八苦

こんなニュースがあったのですね。読売新聞、このところ優秀だと思う。

旅館を経営する男性のもとに昨年10月、女性信者が「福祉に関心がある。お会いしたい」と電話。男性が女性信者と会い、「親のいない子供たちに集団生活をしてもらう施設を運営したい」と考えを伝えると、女性信者は「一緒にやらせてほしい」など「友人に声をかければ（協力者を）10人ぐらい集められる」と自分と教団との関係は明かさなかったという。旅館の客室を子供部屋として活用することなど具体的な計画。

今年2月には、施設の設立母体となる組織の事務所に同県内のビルの一室を借りる契約。事務所の運営費の管理口座や電話回線。女性信者が3月初旬、「（人集めが）うまくいかない」と計画は頓挫。公安当局は、上祐代表の乗用車が、男性が経営する旅館の近くに止まっていたことを確認。教団広報部は「女性信者が上祐代表に相談したり。了承を得たりしたことはない」

上祐代表は今年5月、約70人の幹部信者に対して「介護問題などに取り組む必要がある」と訴え取材に、上祐代表は教団秘書室を通じて「教団が社会に受け入れられた後に社会貢献活動をすることが望ましいと考えている」とコメント。

（2005年8月2日 読売新聞）

1ーうーん、そりゃオウム食程度と寝る所があれば、一ヶ月8000円で生活してくれるサマナがいるのだから、人手はある。

2ーパソコン教室や、中野だったかヨガ教室とか、財政的にも、勧誘の面でも役に立たなくなったのかなあ、確かに新しく入る人はそういない。

3ー上祐もどこかで説法しているのか。世田谷烏山に軟禁されているというよりは、あそこから出ると自分の拠点がなくなる、という感じで、偶に出るだけ、かなあ。んで、西荻での説法はさせてもらえない、と。ふーん、よく分からん。

8月セミナーははどうなるんでしょう。上祐さん、話せないままかなあ。つまらなくない？ 上祐さんが出ればそれなりに金銭は集まると思いますがね。

まさかまた、

- ・ 昔の血のイニシエーションは、尊師のエネルギーを感じたとか、

- ・ 5年以内に日本はメチャクチャになって（確かにいい方向とは思えないですが）、

- ・ そして尊師が戻ってこられる、

とかの説法ではないだろうねえ。

発行 カナリヤの会

〒242-0021

神奈川県大和市中央 2-1-15 パークロード大和ビル 2階

大和法律事務所 窓口 滝本太郎 気付

電話 046-263-0130 ファックス 046-263-0375 takitaro@yha.att.ne.jp

横浜銀行大和支店 普通 1343078 カナリヤの会 滝本太郎